



入学おめでとう♪



学校だより

沃野

第 2 号

発行者 みやら けん
校長 宮良 健

◆令和5年度 入学式【式辞】

「自ら考え、判断し、言動できる人」へ

春のさわやかなそよ風を感じ、このよき日に、歴史ある竹富町立船浦中学校に入学されました六十九期生十名のみなさん、ご入学おめでとうございます。

本日の入学式にあたり、多数のご来賓の皆様、並びに保護者・地域の皆様のご臨席を賜り、令和5年度船浦中学校入学式を開式でき、ますことを、謹んで御礼を申し上げます。

さて、新入生の皆さん、皆さんと出会えることを心待ちしておりました。

早速ですが、船浦中学校で、まず、新入生の皆さんに実践してもらいたいことがあります。それは、ある問題や課題に直面した時に「自分で考えて、そして判断をして、言動する」ということです。「言動」とは、発言したり、行動したりすることを合わせた言葉です。

なぜかと言いますと、皆さんに幸せな人生を送ってほしいからであります。幸せな人生を送るためには、人それぞれの形があります。

が、それでも一つ共通していることは、「自分はこのようにしたい」と思った時に、人は「自分で考え、判断し、発言したり、行動したりする」という一つ一つの小さな積み重ねを経験しております。例えば「今、これをしたい!」と思った時、それを実現するために「今、自分は何をすれば良いのか?」を考え、いくつか考えたアイディアの中から選択をして、「このやり方でいいか?」と判断し、そして言動に起こすことで、自分の思いが少しずつ形になり、実現に近づいていくわけです。もちろん、それが失敗する場合もあります。

でも、失敗した時でも「なぜ失敗したのか?」を考え、「これが失敗した原因なのか?」と判断し、「次は失敗しないようにしよう」と、また言動に移すわけです。つまり、成功する



竹富町立 船浦中学校

令和5年度 入学式

令和5年4月10日 (月)

《式次第》 司会 (教務)

- 1 開式のことば 教頭
 - 2 国歌・校歌斉唱 全員
 - 3 入学者報告 担任
 - 4 入学認定 校長
 - 5 学校長式辞 校長
 - 6 祝辞
 - (1) 竹富町教育委員会教育長
 - (2) PTA会長
 - (3) 上原地区連合公民館副館長
 - 7 歓迎の言葉 生徒会長
 - 8 新入生代表の言葉 新入生代表
 - 9 新入生決意の言葉 新入生全員
 - 10 新入生保護者代表あいさつ
 - 11 職員紹介 校長
 - 12 閉式のことば 教頭
- ・記念撮影
・1年生学級開き



にしても、失敗するにしても、必ず「自分で考え、自分で判断し、言動する」という一連の流れを無意識のうちに人は経験しているのです。そこで、この一連の流れを、無意識ではなく、あえて意識しながら経験を積み重ねること、より効果的な納得解・最適解を導き出す力を、少しずつ身につけてほしいと思います。

次に、本校の行動目標を4つお伝えします。1つめに「みとめ合います」2つめに「みんなとします」3つめに「自分がします」最後の4つめに「互いを尊重します」・・・この4つです。

1つ目の「みとめ合います」とは、友だちの良いところ、つまり「価値」を発見し合い、それを伝え合うことを言います。

2人以上の人が集まれば、意見の食い違いなど、必ず対立が生まれます。

対立は何も悪いことではありません。反対に相手のことを知るチャンスでもあるのです。

まだ相手が気づいていない長所や魅力を見つけ、それを伝え合うことで、違いを認め合い、安心、信頼できる仲間や学級集団が生まれるのです。是非、自分を大切にしながら、そして、相手も大切にしたいと思っています。

2つ目の「みんなとします」とは、小学校でもやってきたと思いますが、それは「協力すること」です。お互いが協力することで、新たな物事が創造されていきます。だから、授業では共に「学び合う」ことを大切にしていきたいです。

分からないことを聞き合える、そんな友だちが一番の参考書だからです。「教えてくれてありがとう」「私の説明で分かってくれてありがとう」と、つながりを大切にしながら「ありがとう」が溢れる学校を創り共に成長していきたいでしょう。



3つ目の「自分がします」とは、「自ら行動を起こす」ということです。「過去と他人は変えられないが、変えられるのは、今、ここから始まる、未来と自分」という言葉があります。皆さんもこれまでに辛いことや悔しいことがあったと思います。時には、相手を恨んだこともあるでしょう。しかし、変えられるのは相手ではなく、自分であり、周りもきつと変わります。なにより自分に自信がついてきます。そして、あなたの未来がどんな開かれていきます。挑戦する人に失敗はありません。それは失敗ではなく、成功に近づいたための「経験」であります。どうか、勉強や部活動、自治活動など、色々な事に、自分らしく、そしてあなたらしく、チャレンジしてほしいと思います。

次に、保護者の皆様、この度は、お子様の御入学、誠にありがとうございます。本日から、かけがえのない大切なお子様をお預かりいたします。私たち教職員は「ピグマリオン効果」というものを大切にしていきたいです。ピグマリオン効果とは「人は期待された通りの成果を出す傾向がある」という効果のことを言います。「どの子もきつと自分らしく素敵な人になる」ことを信じながら、全教職員チームで、一人一人の子供たちの成長を支援して参ります。保護者の皆様もどうか、我が子と周りの子供たちの可能性を信じて、小さな成長を認め、褒めてあげてほしいと思います。加えて、本校の教育活動に御理解を賜り、御支援と御協力をお願い申し上げます。お願い申し上げます。



令和五年四月十日
竹富町立船浦中学校
校長 宮良 健

本校は、保護者・地域のみなさまに支えていただきながら、変化の激しい時代を生き抜く力を身につけさせるために、十五の春「島立ち」に向け、私たち教職員一同、力をあわせて教育活動に取り組んでまいります。どうか、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。同時に、御臨席を賜りました御来賓・保護者・地域の皆様の御健勝と、そして新入生をはじめとする本校四十一名の生徒の輝かしい未来を祈念し、式辞いたします。

